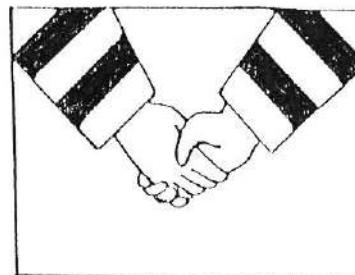


こどものへや

発行責任者 滝川郁子
〒239 横須賀市長沢 87-2
TEL. FAX (0468) 49-8349



二十歳、所員のトップは慎吾君！

指導員 相川英里子

慎吾君も二十歳を迎え、毎日頑張つて、「こどものへや」に通っています。

お誕生日、おめでとう、お兄さん頑張つてね！

九月十六日、「こどものへや」初

めての誕生会が行われました。この

日は、福谷慎吾君の二十歳の誕生日

です。何をするにしても初めての、

若葉マークの指導員ぞろい、それぞ

れのアイデアを集めては相談し合

ます。部屋の飾り付けは？？。ケ

キは？？。プレゼント、昼食メニュー

！はどうする？！？！

所員にも準備の段階から参加して

もらおうと、ペーパーチェーン作り、

そして覚えたばかりのステンシルで

お弁当用のナップキンを作つて、プレ

ゼントする事にしました。五人の手

で、思い思いに五色の花を咲かせま

した。バースデーケーキは、手作り

しようと決めていましたが、パン教

室の時にお世話いただいた浅野先生

にスponジ台をお願いし、快く受け

ていただきました。昼食は皆が食べ

やすい物という事で、クリームシチ

ューとパン、デザートは杏仁豆腐と

決定しました。

いよいよ当日…。『お誕生日、お

めでどう』と書かれた紙を貼り、ペ

ーパーチェーン、くす玉付きのペー

パーフラワーを飾りました。テーブ

ルの上には、ある指導員の庭から切

つてきた、花で作ったアレンジメン

トフラワーも置かれました。所員が

一人二人とやつてきます。華やいだ

雰囲気を感じとつてくれているよう

です。

そして朝の会、皆で慎吾君のバ

ラの匂いが部屋中に広がりました。味見をさせてもらっている所員もいます。フルーツを飾り、キャンドルを立て、準備完了…。慎吾君のお母さんを呼んで、いよいよ誕生会の始まりです。

誕生日の歌を歌い、慎吾君とお母さんで、キヤンドルを吹き消しました。『慎吾君、お誕生日おめでとう！』所員からナップキンのプレゼント

が渡されました。木曜日にボランティアで来て下さっている熊沢さんから、深紅のバラも送られました。そしてケーキカット、楽しい食事へと進んでいました。自分達の目の前で作られたケーキは一番とみえて、皆残さずいただきました。

満足した所員がゆっくり昼休みをしています間、慎吾君のお母さんに思い出話を聞かせていただきました。つらい思い出をさらりと話される慎吾君のお母さんに、大きな愛と強さを感じました。そして又一步、慎吾君とお母さんに近づいた気がしました。本当にささやかですが、手作りの誕生会ができました。

本当にささやかですが、手作りの

食が進まない所員もいましたが、コ

ーヒーのお替わりをする所員もいて

皆のんびりとゆっくり、楽しい一時

を過ごしました。

本当にささやかですが、手作りの

食が進まない所員もいましたが、コ

ーヒーのお替わりをする所員もいて

その①：「国連・障害者の十年」
(神奈川版)記念研修会に出席して

所長 滝川郁子

再び「完全参加と平等」を

一ふつうのくらしをめざして

というテーマで、神奈川県障害者地

域作業所連絡協議会の宿泊研修会が

九月十八・十九日に箱根で開催され

ました。一日目の内容は、第一分科

会：重度障害、第二分科会：人権、

第三分科会：生活の場、第四分科会

：就労、で私は第一分科会に出

席しました。講師は、弘済学園

の児童寮寮長の飯田雅子氏でし

た。重度障害者が作業所へ通う

ことの意義は、「家庭から通い

その②：公開研修会に参加して

指導員 岸 照子

「障害者の余暇活動について」

の講演が、県立三浦しらとり園

に於いて、九月二十八日開かれ

ました。講師は横浜レク・クラフ

ト研究所々長、兼松睦美氏です。

豊かな経験と体験の中からのお話

は人を引き付ける魅力があります。

レクリエーションとは健健康人だ

けのものだろうか。何らかの障害

を持つた人、動きの鈍い老人など

一一般的に、集団的レクリエ

ーションと結びつけるからである

と思われる。全ての人の権利でな

くてはならない、生活を楽しく、

明るく、快くする為に行うもので

あると思う。それ故にレクリエー

ションを行つて、「嫌だ」「苦痛

地域の中で生活できる幸せがある」「存在そのものを肯定し、安心して過ごせる場所がある」「生活のリズムを作ることができる」などとのお話しがあり、「こどものへや」が目標としていることと同じでした。この点、活動が間違つていないことが確認でき安心しました。さらに二十代前半までは経験をたくさんさせることで、社会性が広がっていくことを、二十代後半から三十代まで、一番能力が發揮できる時期であることを伺い、これからこどものへやの方向を決める上で参考にしていこうと思いました。二日目は全体研修会で、ツルネンマルティ湯河原町会議

認でき安心しました。さらに二十代前半までは経験をたくさんさせることで、社会性が広がっていくことを、二十代後半から三十代まで、一番能力が発揮できる時期であることを伺い、これからこどものへやの方向を決める上で参考にしていこうと思いました。二日目は全体研修会で、ツルネンマルティ湯河原町会議

では重度加算があり家賃補助の方法一緒になり、新米の所長として、いろいろと質問ができました。鎌倉市では人件費の公的補助の多い逗子市では人件費の公的補助の多い事等、思わず横須賀市と比べてしましました。現状に甘んじ日常活動に追われることなく、次の一步を考えなくてはと、あらためて感じたのでした。

部屋も逗子と鎌倉の所長の方々とご一緒になり、新米の所長として、いろいろと質問ができました。鎌倉市では人件費の公的補助の多い逗子市では人件費の公的補助の多い事等、思わず横須賀市と比べてしましました。現状に甘んじ日常活動に追われることなく、次の一步を考えなくてはと、あらためて感じたのでした。

農園で取れた新鮮な野菜、愛らしい動物のクッキー、ていねいに作られた手芸・陶芸などに、来店した人達も足を止めました。「ワア、かわいい」「安いわね」と大勢の人々が買い求めていかされました。「こどものへや」のメンバーも、十日(金)に昼食を早めに済ませ、他の来店した人達も足を止めました。「こどものへや」のプランド?ド?、チエックの布地に、ステンシルの作品もどつても好評で残り少なくなっています。

午前中の散歩、いつもの道からちよつとそれで、「すすき」を失礼。

午後はお団子作り!。粉をこねて、丸めて、ゆで上げて!。テーブルの上に秋の花とすすきを飾り、果物の盛皿、できたてのお団子を並べるとあたりはすっかり秋の風情。

スイングするたびにお花に目を止める人、お団子をじっと見る人、秋風に吹かれてにこにこする人、そんな中で昼寝をしてしまう人、メンバーハーは、それぞれ大満足でした。

その夜のお月様は、早い雲の切れ

会議員の「障害者との共生」のテーマで講演がありました。往復を「たけのこ作業所」のバスに同乗させていただき横須賀の肢体不自由作業所の所長の方々の考え方を聞かせていました。

汐入駅前のショッパーズプラザ横須賀にて、九月九日～十三日まで、三浦・横須賀地域の心身障害者の日々の訓練の成果を、広く多くの人々に紹介する為に、パネル・作品展が開かれました。

マで講演がありました。往復を「たけのこ作業所」のバスに同乗させていただきました。横須賀の肢体不自由作業所の所長の方々の考え方を聞かせていました。

横三作業所連絡会

外食訓練

調理実習

特総研

しらとり園研修会

運動会

二八日

二九日

二三日

二五日

二六日

二七日

二九日

三十日

二九日

二三日

二五日

二六日

二七日

会議員の「障害者との共生」のテーマで講演がありました。往復を「たけのこ作業所」のバスに同乗させていただきました。横須賀の肢体不自由作業所の所長の方々の考え方を聞かせていました。

過ごせる場所がある」「生活のリズムを作ることができるもの」などとのお話しがあり、「こどものへや」が目標としていることと同じでした。この点、活動が間違つていないことが確認でき安心しました。さらに二十代前半までは経験をたくさんさせることで、社会性が広がっていくことを伺い、二十代後半から三十代まで、一

番能力が發揮できる時期であること

を伺い、これからこどものへやの方向を決める上で参考にしていこう

と思いました。二日目は全体研修会で、ツルネンマルティ湯河原町会議

の所長の方々と一緒になり、新米の所長として、い

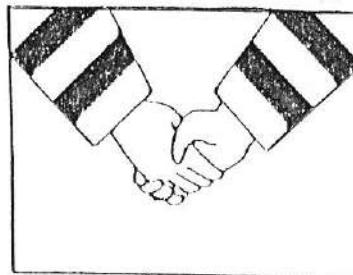
い動物のクッキー、ていねいに作られました。

逗子市では人件費の公的補助の多い逗子市では人件費の公的補助の多い事等、思わず横須賀市と比べてしま

りました。現状に甘んじ日常活動に追われることなく、次の一步を考えなくてはと、あらためて感じたのでした。

子どものへや

発行責任者 滝川郁子
〒239 横須賀市長沢 87-2
TEL, FAX (0468) 49-8349



がいっぱい！

十月の末から十一月にかけて、「スポーツの秋」、「食欲の秋」、「??の秋」と色々な行事や催し物が盛りださん。 「子どものへや」も多くのことを体験させたいと、積極的に参加しました。

今回は、その報告です。

乗りにのつた運動会

指導員 前田邦子

十月三十一日、第十六回目の運動会が坂本地域自治活動センターで開かれました。

当日は、雲一つない青空が広がる穏やかなスポーツ日和です。

小田君・鈴木君は残念ながら不参加でしたが、その分、福谷君・中野君

滝川君・向山さんの四人が、赤組・白組にそれぞれ別れて、指導員と応援にかけつけて下さった武山養護学校の先生と一緒に参加して頑張りました。

◇ 盛り沢山のプログラムに、初めて参加した指導員も少しどキドキ。

でも「案するよりも……易し」でしょうか。会が次第に進行していくうちにいつしか夢中になっていました。

玉入れに始まり、鈴割り・パン食い競争・魚釣り競争等々、各作業所の所員の方々も、多くのボランティアの方々と一緒につて、体のハ

きと明るく頑張り、笑顔が輝いていました。最後はまるで大勢の所員の

心の弾みを伝えるような、ビートのスコダンスで終わりました。

運動会を計画して下さった主催者

十月二十四日に境町内会から招待していただき、北下浦中学校での健民運動会に参加させていた

だきました。

あいにく「子どものへや」の所員達は、体調を崩した人が多かったので、参加できたのは慎吾君と真一の二人だけ

でした。体力的に長時間は無理なので、午前中だけの参加にさせていただきました。

会場の学校へ入つていくと笑顔で挨拶を返して下さった

り、声をかけていただきました。

玉入れに始まり、汗ばむほど陽射しでした。温かい雰囲気のおかげで汗ばむほど陽射しでした。慎吾君も真一も、機嫌良く頭を振つたり、手をかざしたりして、彼らなりに楽しい気持ちを表していました。玉入れ競技を一緒にしたり

ました。

「子どものへや」の仲間達が全員参加できなかつたのが残念でした。

地域健民運動会に参加してく…



ふだんは子供達の送迎だけで、地域の皆様方と親しくふれ合う機会がありました。が、今回は少しでもお話しすることができました。

町内の方々の温かさに感激した一時でした。

帰りには参加賞もいただき

ました。

ボランティアの女子高生に囲ま

れて、うれしそうに積極的に参

加する充君、風船割の音にびっくり

しながらも最後まで頑張った明美

さん。一人一人が多く競技に、

楽しそうに頑張ることができたの

の実行委員の方々、多くのボランティアの方々、心に残る温かい運動会を開催していただき、ありがとうございました。 参加した指導員の方々から、次のような感想が寄せられましたので、紹介します。

上野幸子 植木智子
◎ 大勢の中で、時間的にも長いのでも、疲れてしまうのではないかと心配しました。しかしそれに休みながら運動会を楽しむことができ、とても良かつたと思います。

◎ 相川英里子
可愛らしく、ゆったりとした運動会だった。小さな「子どものへや」を出た所員の、いつもと違つた顔を見ることができた。内弁慶さんもいれば、先生の声援に応えてびっくりするほど力を出す人もいた。ボランティアの方々とのふれ合いも大事な事だと思った。

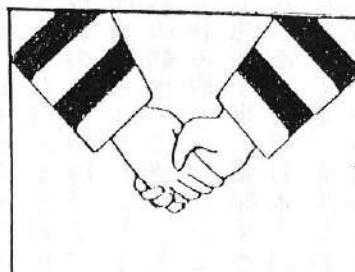
◎ 上野幸子 植木智子
ゆつたりとした競技の流れの中で、風船の割れる音にびっくりする者、ディスコの曲に体が自然に動き出す者、想像していたよりはるかに参加した所員が楽しみ、明るい表情だったのには、又違つた一面を見た思いでした。

◎ 岸照子
輝く目、手をかざし体の動きに喜びがいっぱい、若いエネルギーがある、競技中の真剣な顔に思わず私達も力が入りました。意欲的に参加している姿は、けなげで美しい。十代最後の運動会に乾杯！

◎ 前田邦子
ディスコの響き、初体験のおばさんとしては、一步後ろから見ていたかつたのですが、慎吾君と、真一君の、のりにつられてとうとう輪の中に入つてしまいました。

こどものへや

発行責任者 滝川郁子
〒239 横須賀市長沢 87-2
TEL. FAX (0468) 49-8349



マイペース、ゆったりとした日課

「こどものへや」では、曜日ごとに、その日の日課を中心には担当する指導員を決めています。雨で散歩ができない日などは楽しく過ごせるようにそれぞれ工夫しています。始まつてから九ヶ月経ち、各曜日の特色も少しづつあります。

◎月曜日 鈴木成子

「こどものへや」の時間は、いつもゆつたりと過ぎていきます。中でも休み明けの月曜日は皆の調子を整える為にも、特に

社会見学・行事内容等、アイデアを出し合って決めています。
四月：神明公園に遠足
五月：しようぶんお花見
六月：パン作り教室
七月：七夕祭り

八月：夏休み親の会修善寺旅行
九月：福谷君二十歳の誕生会
十月：カレー・ライスの調理実習

十一月：滝川君、向山さん誕生会
十二月：クリスマス会

又、不入斗総合体育館にて「たけのこスポーツ教室」に参加し、午前中はラジオ体操で体を動かし、各作業所のメンバーと共にゲームや歌、誕生会、そして午後からは「たけのこ式バレー・ボール」での

日課の中で、はつきりと決まっています。遅刻者続出で、朝の会が始まるのは十時、それからマッサージをして、散歩に出るのは十時半を過ぎています。それでもお昼まで、たっぷり外の空気を吸つてることができます。

木曜日は十時半を過ぎています。遅刻者続出で、朝の会が始まるのは十時、それからマッサージをして、散歩に出るのは十時半を過ぎています。それでもお昼まで、たっぷり外の空気を吸つてることができます。

木曜日は十時半を過ぎています。遅刻者続出で、朝の会が始まるのは十時、それからマッサージをして、散歩に出るのは十時半を過ぎています。それでもお昼まで、たっぷり外の空気を吸つてことができます。

◎火曜日 岸ちづ子
曜日、月に一回の職員会議により

水曜日は総合福祉会館内の音楽室を使用し、所員が大好きな音楽を楽しむ事と、隔月の第二水曜日は清水先生の訓練を行っています。第一水曜日は大沢先生のプログランに沿つて進み、いろいろな曲を用意してくれます。曲を聴き、歌い、ピアノに合わせて車椅子で動きます。新しい歌も覚えました。「動物園へ行こう」「ゆらり、ふわり」「ホーホーホー！」

皆がリラックスできて、世間話を楽しんだり（好きなんだなこれが！）昼寝ができたりする中で、月曜日の定番とでも言うべきものができればいいなあと思っています。

木曜日は総合福祉会館内の音楽室を使用し、所員が大好きな音楽を楽しむ事と、隔月の第二水曜日は清水先生の訓練を行っています。第一水曜日は大沢先生のプログランに沿つて進み、いろいろな曲を用意してくれます。曲を聴き、歌い、ピアノに合わせて車椅子で動きます。新しい歌も覚えました。「動物園へ行こう」「ゆらり、ふわり」「ホーホーホー！」

第三水曜日は新井先生と山本先生にお願いしています。山本先生

試合をし、勝負をかけた楽しいひと時を過ごします。他には長沢の散歩で季節の変化を楽しみます。

◎木曜日 相川英里子

木曜日のメンバーは、福谷君、滝川君、中野君、向山さんの四名です。職員・ボランティアさんを入れて八名、一人一畳を使えるゆつたりとした（？）日です。木曜日は特研が入る以外は、行事がありません。

五月：神明公園に遠足
六月：パン作り教室
七月：七夕祭り

八月：夏休み親の会修善寺旅行
九月：福谷君二十歳の誕生会
十月：カレー・ライスの調理実習

又、不入斗総合体育館にて「たけのこスポーツ教室」に参加し、午前中はラジオ体操で体を動かし、各作業所のメンバーと共にゲームや歌、誕生会、そして午後からは「たけのこ式バレー・ボール」での

ある日の散歩を紹介しましょう

「こどものへや」を出て十分もすると、私達はもう津久井の秋に囲まれます。ちらほら色づいた山、稲刈りを終えた田んぼ、キヤベツ畑、大根畑。穂やかな陽射しを受けながら、ゆつたりとした散歩を楽しめます。みかんの収穫をしていた農家の方から、もぎたてのみ

のやさしいけれど力強いピアノの伴奏、高音のすてきな新井先生、「月の砂漠」の歌声には、思わず

所員・指導員共々聴き入ってしまいます。二人の先生のピアノと歌はすてきです。先生のいない週はボランティアの中田さんのピアノと指導員の美しい歌声？で何とか行っています。

金曜日は翌日が休みということ

もあるので、その聴く力を生かして、今度は手に小さな楽器を持ち

簡単な曲を合奏出来たら……と大

きな夢を持つています。

◎金曜日 植木智子

金曜日のことを書いて欲しいと

言われたのを期に、あらためて開

所当時から今日まで振り返ってみ

ると、ずいぶんいろいろな事が

つたなと思い出されます。四月、

私達も所員の皆さん、お互いに今思

うと、おかしい程緊張していまし

た。何が何だか解らない中、日課

表をもとに試行錯誤を繰り返し、

又お母さん達の声を頼りに少しず

つ少しずつ皆の事が解ってきた頃

やつと落ち着いた雰囲気になつた

ことを思い出します。

金曜日は翌日が休みということ

もあるので、その聴く力を生かして、今度は手に小さな楽器を持ち

簡単な曲を合奏出来たら……と大

きな夢を持つています。

又、「こどものへや」にいる時

は、天候や体調にもよりますが、

できるだけ皆の大好きな散歩を欠

かさぬようにし、歌や楽器を楽し

んだり、あまり好きではない機能

訓練も頑張っています。

松田先生から学ぶこと……

国立特殊教育総合研究所で研修

指導員 相川英里子

所員は月に一度、野比海岸にある「特總研」へ、松田先生のご指導を受けに行っています。

この日は、「子どものへや」でいつものように午前の日課を済ませ、昼食をとり、二時半頃各自お母さんと一緒に特總研へ向かいいます。訓練は三時から始まります。ここでは、所員の訓練にお母さんが立ち会い、職員は見学にまわります。そこでは

松田先生の他、全国から研修に見えている先生方が、所員一人一人について下さいます。いろいろな教材、おもちゃ・ポータートーンを使い、訓練が行われます。そこでは、所員に何かを「させる」という訓練は一つもなく、何かをしようとする意志を引き出そうとする訓練のように思われます。それはとても細かい注意力と、根気のいる訓練です。松田先生は、所員のちよつとした手足の動きや、目の動き・表情から所員の心の動きを読み取ろうとされています。

決して急がす事も強制する事もありません。あくまでも本人の意志を尊重した訓練です。先生とお母さんの会話から、今の所員があるのは、大きな努力による、本当に小さな成果の積み重ねなのだという事に気がつきました。

「子どものへや」開所に際し、松田先生の期待された四つの事(①通つて来た所員が、ゆつたりと安心し

市の招待ボーリング大会が十二月三日、Aボールで行われました。

「子どものへや」も二つ

のレーンを使い、所員五人

と共に、にぎやかに十三人

が参加しました。充君を除

いて、皆車椅子に乗つたま

まで出来る台を使用しまし

た。それは傾斜のついた台

にボールを乗せ、手で押す

とレーンに落ちる仕掛けにな

っています。さあ、結果は

後の③④は、とても毎日できている

とは言えません。本当に手探りの状

態です。この③④を果たす為にも、

特總研での訓練は、職員の訓練の場

にもなつていると言えるのですが、その後の③④は、とても毎日できていることは言えません。本当に手探りの状態です。この③④を果たす為にも、特總研での訓練は、職員の訓練の場にもなつていると言えるでしょう。

◇ ◇ ◇

十二月九日、久里浜駅前において「あまね作業所」と他「ともしび運動」の人達とチラシ配りをしました。

障害者基本法成立後、初の「障害者日」にあたることから、「障害者」に、道行く人に手渡し、理解と協力を呼びかけました。

「障害者の日」キャンペーン

指導員 岸照子

十二月九日、久里浜駅前において「あまね作業所」と他「ともしび運動」の人達とチラシ配りをしました。

障害者基本法成立後、初の「障害者日」にあたることから、「障害者」に、道行く人に手渡し、理解と協力を呼びかけました。

「障害者の日」キャンペーン

指導員 岸照子

つたね。今度は向きを変えてみようかと、いろいろ工夫しながら大好きなボーリングを楽しんでいました。

☆中野君：お母さんの朗らかな神頬

のみの応援(チキンパイプイ、真っ直ぐ：曲がれ、曲がれ)が効果があつたりなかつたり、一喜一憂。

真一君のけげんな顔に指導員も思わず吹き出します。

☆福谷君：「へや」を代表する唯一

体育会系の慎吾君。ちょっと外野

がうるさくて集中できないなあー

お母さんのボールを追う視線も、

ついつい力が入ります。

☆鈴木君：お母さんも一生懸命投げ

いるので、僕も頑張ろうとばかり

に、なかなかの良い成績でした。

☆滝川君：両方の手で上手にボール

を押します。残念、曲がつてしま

うだつたでしょうね？

◇ ◇ ◇

☆向山さん：周りの雰囲気にもだいぶ慣れ、お母さんや指導員の応援に、やさしくボールにタッチ、ご満悦の笑みがレーンを追います。

ウン十年?ぶりにボールを手にし

た人、さすが若さでしょか、スト

ライクやスペアが気持ちよく決まる

福谷さん、植木さん。隣のレーンで

は、他の作業所のお友達が若さを爆

発させています。

こうして所員と一緒に参加したボ

ーリングは、情けないおばさんに、

又一つ勇気を与えてくれました。

◇ ◇ ◇

十一月二十二日、横三作業所交流会に滝川君、福谷君、向山さんが参

加しました。

重い障害を持つた子どものへやの

所員が、どんな形で参加できるのか

少し不安もあつたのですが、他の作

業所の方々と楽しく参加でき、ほつ

としました。

午前中は、大きな音響にびっくり

したり、びゅんびゅん飛んでくるド

ッヂボールから逃げまどうのに苦労

したりしながらも楽しくクリア！。

午後の部に備えて大変身。髪をジエ

ユードックパンをいただいた後は

新井光枝様

理容トモ工様

・三浦康則様

・池尻澄夫様

・吉富あや子様

・阿久津照子様

◎ありがとうございます

◇ご寄付

・吉富あや子様

・三浦寿美恵様

・阿久津照子様

・阿久津照子様

一月行事予定

1月7日 冬休み

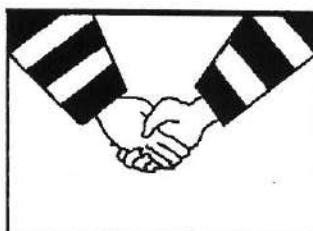
1月11日 スポーツ教室

1月12日 清水先生訓練

1月18日 職員会議

1月25日 誕生会

子どものへや



発行責任者 滝川郁子
〒239 横須賀市長沢 87-2
TEL. FAX (0468) 49-8349

新 年 を 迎 え て

二年目に向かつて

開所以来、いえ準備段階から暗中
模索・無我夢中の日々を過ごしてきました。お正月休みに、やつと振り
返る時を持つことができました。大
勢の方々の支えがあつてこそ、困難
を乗り越えてこられたのだと思いました。
寄付をして下さった方、賛助会員
になつて下さつた方、介助や作業
のボランティアの方、ボランティア
で音楽をはじめいろいろの教室を開
いて下さつた方々のお顔が浮かんで
きます。学校時代に教えていただいた
た先生方が、訪ねて来て下さつたこ
とも嬉しいことでした。そして何よ
りも家を貸して下さつた大家さんは
じめ、見守つて下さつて近隣の方々に
感謝の思いでいっぱいです。
直接、所員のケアをして下さつて
いる指導員の方々には、一年足らず
で所員一人一人の個性をきちんとと
らえていただき、感激しています。
それにしても今年は、指導員の方々
と相談しながら、日課や行事の整理
をしなければなりません。昨年四月
開所するにあたり希望に燃えて、つ
い思いつくまま、あれもしたい、こ

一月になると、「今年はどんな年にしようかしら」と心構えをしてしまうのが、日本人の不思議なところです。作業所は四月が年の始まりなのでですが、やはり今回は、抱負なり考えたことなりを載せましょう、ということになりました。編集をしている三人が、それぞれの立場で書いてみました。

れもしたいと欲張り、盛り沢山の計画を立ててしまつたからです。指導員の方々の努力でこなしてはきましたが、大変だったと思います。できることと、できないことを見極め、ゆづくりとじづくりと積み重ねて、くるような取り組みを、考えたいと

新年に思う事

思っています。所員一人一人の訓練の充実も二年目の課題です。

昨年の四月に比べると、確実に大人へと成長している所員たちが投げかけてくる問題に、対処できるよう勉強もしなくては、と思つています。

◇ ◇ ◇

新 年 に 思 う 事

親の会代表 中野征子

「ことものへや」に通う様になつて初めてのお正月を迎えた。早いもので子供達も二十歳の人、十九

つてゐるつもりで、皆が重い為、未だにトランで一口ずつ食べたりの毎日です。だがいつまでも小さきへ進んでいきませぬかと、ついつい幼児にしてしまい、家の者に注意されて、ハツとする時があります。

員になつて下さつた方、介助や作業のボランティアの方、ボランティアで音楽をはじめいろいろの教室を開いて下さつた方々のお顔が浮かんできます。学校時代に教えていただいた先生方が、訪ねて来て下さつたことも嬉しいことでした。そして何よりも家を貸して下さつた大家さんはじめ、見守つて下さつている近隣の方々に感謝の思いでいっぱいです。

直接、所員のケアをして下さつている指導員の方々には、一年足らずで所員一人一人の個性をきちんととらえていただき、感激しています。

それにもしても今年は、指導員の方と相談しながら、日課や行事の整理をしなければなりません。昨年四月開所するにあたり希望に燃えて、つい思いつくまま、あれもしたい、こ

所員の食事や排泄のお手伝いは、スムースになりましたが生活訓練の場として「これでいいのかなー」と、心のどこかで指導員一同感じる日々です。所員が心から充実した楽しい時を過ごせるように、今年の抱負を話しました。毎日がマンネリにならないようになります。そして樂しくやつていこう。

・ 所員と心が本当に通い合う友達になりたい。(ツーカーの仲間)

・ いつものんびりとゆつく心掛け、笑顔がたくさん出る毎日したい。等々…。

より多くの本物を求める
楽しくのんびりといこう
指導員 前田邦子

目や耳から感ずる、より多くの本物に接する事で、豊かな感性がよりいいつそう磨かれる事を希望して、指導員一同で頑張りたいと思います。

今年はお兄さんとして扱つてあげたいと思つていますが、正直なところ、これがなかなか難しいのです。でも子供は前のようなスキンシップを中心とした接し方より、話の内容はよく判らなくとも、常に話しかけてもらう方を、喜ぶようになります。親の私も負けないよう、今年は頑張らねばと思つております。

弦のひびきに魅せられて

指導員 鈴木成子

十二月二十二日 ホテンティアの
熊沢さんが、ご自分がおけいこをし
ていらっしやるお琴の手島先生に応
援をお願いして、お二人で琴の演奏
をして下さいました。

とどきでした。

を通られていて、声をかけようか迷つていきましたが、今日は思い切つて来てみました、ということでした。私たちとしては、嬉しく、「感激！」というよりありませんでした。日頃より、生演奏や生の演劇を見せたいという思いが強かつたからです。個人的には機会を作るよう努力していました。しかし常に、障害者が迷惑をかけず、鑑賞することの難しさ

でいくこともあるとのことでした。また、所員の年齢の高いこと、自主運営の会へ関わっていくゆとりが私達にあるかの心配、についても先ず試みて、どうしても無理と思えたら退会もできるのですから、ということでした。やさしく柔軟性のある考え方方が、根底に流れていることを知り、入会させていただくことにしました。さく十二月二十三日の晩

はいけないと言つているように思えました。障害児を一人の人間としてきちんととらえているのか、なんでも「肉体的にも精神的にも、たいへんなの」で片付けたり、先送りしたりしていいのか。年のせいで疲れ易いなどと甘えていいで、背筋を伸ばして生活しよう。若一方の鋭い視点に負けないように……。

琴の音色を生で聴くのは、所員はもちろん、指導員、お母さん達もほぼ全員初めての体験です。

樂しみな
おやこ劇場

十一月に『南おやこ劇場』の役員をしている岡本さんが来所され、入会のお誘いを受けました。散歩している所員を見かけたり、作業所の前

感をかけずに鑑賞することの難しさを感じていました。感動すると声を出して騒いだり、トントン足でリズムをとつたり、場面を考えずに拍手をしたり、自分の世界で楽しむからです。こどもには経験させたい、でも静かに鑑賞したい方々の邪魔をしてはいけない、といういつも感じているジレンマについてお話をすると、目的の一つに、鑑賞する姿勢を育て

比の『海の公園』での事務所開きと
一月十五日のグリーンハイツの公園
での、事前取り組みのご案内をいた
だきました。それぞれ二名が参加し
ましたが、海からの風が冷たく、一
時間あまりで失礼させていただきま
した。

一月二十六日に「冒険者たち」を
観ます。所員たちが、どんな受けと
り方をするか、注目です。

◎一月
十一月十一日 ハイランドバザー
十二月二六日 長沢フリーマーケット
一月行事予定

聴き慣れている童謡をメドレーで、「きらきら星」「ちようちよ」、クリスマスに合わせて「聖夜」、「ジングルベル」と進みました。最後の「さくら変奏曲」までの三十分程の演奏の間、皆、初めて聴く琴の音色にひきつけられ、うつとり、ゆつたり……。リラックスしすぎて眠つてしまふ人もいました。

十二月二十五日、人形劇団ひとみ座の、創立四十五周年記念公演に招待していただきました。全員で行く予定でしたが、体調が悪かつたりで落胆、落合、眞一郎、眞理子、お宣

寒さは感じませんでした。
人形劇は「長くつ下のピッピ」と
いう女の子の話でした。照明が消え
幕が開くと「何が始まるんだろう」
って頬をついていました。内容は理解でき

背筋を伸ばして

◎二月二九日二六日 横・三作業所研修会
一日 職員會議

もいいですよ」の言葉に甘えて楽器に直接触れて、音色を楽しむことになりました。糸に触ると音が聴こえるのはもちろんで、糸の振動

の大武君と志田さんに声をかけ、五
人で行きました。
慎吾は人形劇を
観るのは初めてな
はじめて観た

することはできないけれど、照明・音楽・出演者の声と動き、思つたよ
りも良く観ていま
した。真一君も充

とこの二人が、お小遣いから「こどものへや」へ、寄付をしてくれました。一こどもにとつて二千円は大金よね。やさしい感受性の強い子ども

一九日 肢体作業所職員親睦会

がびんびん身体に伝わってきます。所員はその感覚にびっくりしたり、喜んだり……。新しい発見が、又、つできました。

ので、騒いで迷惑をかけるのではな
いかとか、夕方の四時から『はまゆ
う会館』でということだったので、
駐車場はどうしよう？ お天気が悪
福

谷 恵 美 子 君も良く観ていた
　　ようでした。理解
できる大武君と志田さんは、楽しめた
たようです。「いいクリスマスにな
つたネ」って話をしていました。又

たちなのね」と話し合っていた時、福谷さんから、その中学三年生のお嬢さんがお母様に、「福谷さんのお嬢さんに比べて、お母さんはつまらない生き方をしているんじやない」

◇ご寄付
阿部憲一様
入江様
橋本美佐子様
高橋 純様
大古スミエ様
旭製作所様
高橋 恵様
匿名の方

手島先生が、楽器や楽譜、指にはめる「つめ」の説明をていねいにして下さる中、所員・指導員・お母さん達が、入り交じつてわいわいガヤガヤ、初めての体験に順番が回つてくるのが待ち遠しく思える楽しいひ

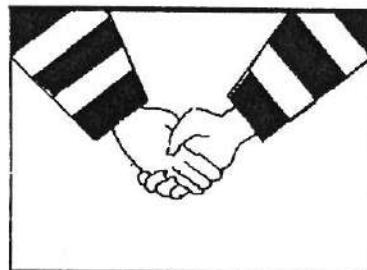
駆車場はどうしよう？ お天気が悪かったら……、寒いかもしれない等、心配していたのですが、日頃の行いがいいのか!?、当日はわりと暖かく少し離れた所から車椅子で歩いても

「たれ」って話をしていました。又機会があつたらぜひ行きたいと思ひます。衣笠の商店街を歩き、暇やかなクリスマスの雰囲気もちよつびり味わいながら帰つてきました。

ない生き方をしているんじやない」と言われた、という話が出来ました。ハツと心を打たれました。そのことは逆に、こちらあたりでもう一度障害児を持つた親としての考え方、生き方を反省し、とらえ直さなくて

◇作業ボランティア
・高橋純様
・園名の方
・細野清美様
・三浦寿美恵様
・有賀はる子様
・今江恭子様
・宗形清子様
・岸照子様

子どものへや



発行責任者 滝川郁子
〒239 横須賀市長沢 87-2
TEL, FAX (0468) 49-8349

寒さに負けず
みんな頑張っていきます

指導員 前田邦子

立春が過ぎたというのに、見渡す限りの雪が降つたり、厳しい寒さが続いていますが、所員は「こどものハヤ」での初めての冬を、大人が考えているよりもエネルギー的に、力強い原動力で毎日元気におおらかに過ごしています。

「へや」には冬の陽かたつぶりと差し込んで、みんなの心が温かくなります。庭には毎日、スズメの親子が餌を求めて姿を見せます。それを見て、幸せになつたり心がふくよ

かになつたりして、またまた、ごほんのおこぼれを分けてあげたくなりま
す。スズメも、所員に感謝しながら、餌をついばんでいるように見え
ます。なんとも風情のある光景に、所員も午後からの訓練に力が入りま
す。又、一日で一番重要な日課であ

の準備をして、少々の寒さでも完全武装で出かけます。ウインドブレーカーに身を包み、レッグウォーマーをつけます。これでもお母様方にしてみれば、冷たい冬の風は心配かもしません。でも海からのオゾンを吸つたり、外気浴が結構体を丈夫にしているのでしょうか、皆、たくましく健やかです。たまに散歩に行けない時は、指導員が朝から「だし」を十分にとつて、温かいお豆腐の味噌汁を作り、庭のアサツキを刻み入れて、ふうふうと食べると身も心も温まって、お替わりをする人もいて

つけ て い ま す

好んで、遊具を片付けたり、相変わらず器用な康雄君です。

雪の日は何となく外に出られないと思
うです。作業所では、興味が少しあ
つたのか、雪の上にちょっぴり座つ
て、おしりが冷たくてにつこり。。。
おおらかなところを見せて います。
◎ 中野真一君

◎ 小田康雄 君

樂しそうに積極的に入ってきます。お味噌汁が大好きで、お替わりもします。時々、指導員のお手伝いも大

一月二十六日、入会して間もない
おやこ劇場の、第七十五回低学年例

会が文化会館であります。生の舞
台芸術を鑑賞する、この「例
会」は今回東京芸術座の「冒
険者たち」でした。

参加したが、ごとものへやのメンバーは、充君、慎吾君、真一君、康雄の四名とその母親達。残念ながら二名は体調不良等で不参加でした。

文化会館では、役員の方が
眼の悪い所員達の為に一番前
の席へ案内して下さり、「何
か困つた事があつたら遠慮な
温か もや

く言つて下さい」と細かい心遣いをして下さり、迷惑をかけるのではないかと心配している親達を、温かい雰囲気で迎えて下さいました。周りは小さい子供達でいっぱいのもの、所員達には嬉しかったようで、二階や三階の方までしきり

卷之三

うです。感受性がとても豊かです。

横須賀地区障作連研修会の報告

一月二十九日(土)、総合福祉会館で午前全体会、午後分科会が開催され、四名が参加。全体会は小児療育相談センター参事、菅井正彦氏による「作業所の果たす役割」でした。

第三分科会 てんかんとその治療

推進員 楠木智子

横浜療育園の横田先生による、てんかんとその治療についてのお話を聞く機会に恵まれました。先生の話は、特に知識の無い私達にも分かりやすく、時にジョークを交えながらの楽しく且つ有意義なものでした。てんかん発作とは、神経細胞の異

が大切だそうです。横田先生のお話は、もつと詳しい内容のものでした
が、うまく伝えられることができず
残念です。又、私の理解力が足りず
誤解していることがあるかも知れな
いことを記しておきます。

雪と
バレンタインデー
指導員 上野幸子

指導員 上野幸子

二月十四日(月)の一日、前々日の大雪の為、作業所の庭も一面真っ白。ほころび始めた梅の花もびつ

月一度の職員会議の日に、作業所見学をさせて頂きました。スボ

教室でお会いする皆さんかとん
な所で毎日どんな風に過ごされてい

れる為にも意味ある事だと思います。

いました。私達の
為に予定を変更し
作業所見学で

作業を見せて下さ

頑張つて手を動かしている姿が印象的でした。壁には所員の方の絵や歌

が食っており、油がぬが感じられないました。又今年に入つて、CCCFの見

室の時など 所員さんと職員さんか

くり…。午前中は雪の感触を楽しむ事になりました。全員庭先の方に向きました。でも私達が小さな雪だるまと、雪うさぎを作っているのを見つけて、「何をしているのかな?」という顔つき…。雪だるまとうさぎが解ってくれて(?)ニッコリ…。雪の白さと冷たさを体験しました。

午後はバレンタインのクッキー作り、紅一点の朋美さん一人で、男子所員五人分を作るのは大変…。男子所員にも自ら手伝つてもらい、「スノーボール」というクッキーを作つてみました。積極的な康雄君、小分頂きました。

けした生地に、マ！ ブルチヨコを二つ入れ、手のひらでクルクルと上手に丸め、「ハイ！」出来上がり！ たまには潰してみたり、指の跡を付けたり、ボールではないものも；、又それもよし。

作業ボランティア募集!
ミシンかけ、ステンシル染め、
アイロンかけなど。ご協力いた
だける方は、作業所までご連絡
下さい

二月 二〇三

三月 二二日 十六ミリ映画会 山鳩よこさん店頭販

一日 職員会議
八日 スポーツ教室
九日 清水先生訓練

十九日 十日 特總研
？日 誕生会 SKY研修会

二八日～五日 春休み

・介助ボランティア
・今江恭子様
・蔵茂謙

・熊沢睦子様
・沢田文子様
・村田光恵様
・中田光子様
・船山秀子様
・新井光枝様(音楽)

・山本利子様（音楽）
・大沢央子様（音楽）

・作業ボランティア
・細野清美様
・山崎和子様

岸照子様
今江恭子様
宗形清子様
吉富あや子様
有賀はるこ様
隈本美智子様

・三浦素美恵様
・大古スミ工様

・ひまわり会（逗子）様

幹大の笑顔

笑齋

予定のない夏休み

中野征子

りがイヤ。少し休んで宮古へ！

梅雨明け不明の夏休み

福谷惠美子

多くの方々に見守られていたことを
喜びました。しかし、この間の二三

は今年の夏は気候が不順で、後半に入つてやつと夏らしくなりました。私達親子も、「こどものへ

や」にお世話になつて、始めての夏休みを迎えたが、残念ながら体調を崩し、休み中食べて寝ての生活で、乗しい事は一つもありませんでした。

「この物語が通じない」と
幹大が喜んで笑顔を見せてく
れたので、その時は何となく
救われた気持ちになります。

で、頭が下がります。特に食事の面では、幹六の食べやすいように、いろいろアドバイスして下さったり、手を添けて下さり難いと思います。それにから一緒にいたお友達ばかり

う。「二どものへや」にいる時の方が、目の輝きも違うようです。帰りの車の中で「今日は楽しかつた?」と聞いかけると、ニコツと笑いが返って来ます。そのような時はハンドルも軽く気持ちに向かうのです。これからも体調を整えて、「二どものへや」に通えるよう、親子共々頑張りたいと思います。



八月十二日
父母
田嶋さんと
四人で旅行です。行く先是三陸海岸
十時三十分スタート。楽しみだなー
田嶋さんのラッシュの割には、スム
ーズに走ります。私は少し興奮気
味です。東京の夜景がとてもきれい
で、今夜は眠れそうにもありません
十三日朝、中尊寺で有名な平泉に着
く。私と母は途中まで行きましたが

うと軽しく、裏一とゆつくり向き合
う時間才十分ではなかつたかもしれ
ません。そういつた意味では、この
二週間は、ゆつたりとした本当にあ
りがたい充電期間として過ごす事が
出来ました。

がこの気候の為、お父さんの休日も天気はバツとせず、海に行くどころではありませんでした。

私の方は、天気のせいばかりではないでしようが、休み前の作業所の旅行や、バザー等といった行事の疲れもあって、しようと想つていた事はほとんど出来ませんでした。すぐにはゴロリと横になつてしまふ日が多く、そんな時には真一もつられるのが、椅子で並んでよく昼寝をしました。

卷之三

旅館へ着く。ここは温泉なので、太浴場へ伯母と母、ちよつと父の手を借りて入浴。手足を伸ばして気持ちがいい。明日は家へ！。私はドライブがもういいと言う程、車に乗りましだが、宿泊先では好物が沢山出て食べきれない程よく食べ、よく眠りよくドライブした楽しい旅行でした。

小山集

が具合が悪くて病院通いだった為、どこへも行かず、娘のお手伝いをすることに決めた。まず大好きなのが、洗濯！お母さんと同じ様に、洗濯物を入れたり、回したり、脱水機にだつて入れられるよ。ちよつとぐら

い水びたしだつて気にならない。バツ
シャンバツシャン大満足。その次
は玄関の掃除、下駄箱の中の靴は皆
外へ放り出し、お母さんがそこはい
いからと言つたつて、ほくなりにち
やんと山もできた。夜中だつてお父
さんを先に寝かし付けてからぼくの
時間、一人でテレビを楽しむ。変な
想像は止めて下さいー。

まだいっぱいあるけど、とにかく
元氣で大活躍?。ぼくらしい夏休み
でした。お母さん早く良くなつてね。

別巻の夏休みの想い出

南山先生

舊書は退屈だつたと思ひますが、
ゆっくり過ごす事ができました。
充とおじいちゃん

五
五

卷之三

わる日の夕方

味を持ったのが、テレビを見ていた充が、玄関へ出て来ました。「ジジにバイバイよ」と声をかけながら、充を可愛がっていた父の姿が目に浮かんできました。充が幼い頃から、気候の良い時期には、夕方になると車椅子を押して散歩に出かけていました。人通りの多くない団地内ですのに、父の亡くなつたことを知つたご近所の方々から「お孫さんとお散

いつもの夏だつたら、何回か海に行くのに、今年は全くなし。天気が悪かつた事もあり、家でゴロゴロし

ですか、長男の卒圧式に出かける直前に、充が大きな発作を起こしました。私は症状が安定するまで、見ていくなくてはならず、急速、父に出て

車椅子で近くのスーパーに行くぐら
いでした。涼しくて過ごしやすかつ
たのはいいのですが、すぐに眠くな
つてしまふみたいで、食つちや寝状
態でした。でも、起きてる時は、積
極的に床を掃除？（勿論背道いで）
したり、ミシン掛けやアイロン掛け
を始めると、物珍しいのか、眠そう
にしている時でも、目を開け、笑い
ながら寄つて来て、邪魔をするので
す。もしかしたら手伝いたかったの
かも？

携書は退屈だつたと思いますが、
ゆっくり過ごす事ができました。

充とおじいちゃん

瀧川郁子

夏休みのお盆の終わる日の夕方、
送り火を焚いていると、炎と煙に興
味を持ったのか、テレビを見ていた
充が、玄関へ出て来ました。「ジジ
にバイバイよ」と声をかけながら、
充を可愛がつていた父の姿が目に浮
かんできました。充が幼い頃から、
気候の良い時期には、夕方になると
車椅子を押して散歩に出かけていま
した。人通りの多くない団地内です
のに、父の亡くなつたことを知つた
ご近所の方々から「お孫さんとお散
歩している姿が見られなくなり、寂
しいですね」と言われ、あらためて

もらうことになりました。記念写真
の父は若いお母様方に囲まれて、少
しチレして笑っていました。

そんな父と充でしたので、脳梗塞
で倒れ、命の短いことを知られた
時、別れの席には充も列席させたい
と思いました。幸いにも「子どもの
へや」が開所した後でしたので、忙
しい家族に替わつて、ボランティア
と指導員の方々の厚意でケアしてい
ただき、通夜・告別式共に参列する
ことができました。又、市営の中央
斎場では、卓犮子が使用できること
も、参列やすかつた要因でした。
いつもと全く違う雰囲気の中で、騒
ぎ出すのではなく心配をよそに、お
縁を聞いてニコニコし、飽きたと眠
つて、心は安定していたようでした。

重い障害を持つても条件さえ
整えば、家族の一員として公の席へ
出る事もできるのです。充は条件に
恵まれていましたが、これからは誰
でも望めばそうできるようなシステム
が作れないか、考えていかなければ
ならない問題の一つだと思います。

ジジの亡くなつたことが、充にわ
かっているのか誰かめようもありま
せんが、可愛がつてくれた肉親との
別れという経験が一つ加わり、精神
的にも成長しました。おがらからお
線香に火を移しながら、祖父の思い
が、これからも充の生き方を守つて
くれるだろうと思いました。